

第2回新中間処理施設整備検討有識者会議概要

1 開催概要

※資料は、別添のとおり

開催日時等

日時 平成30年9月25日(火) 午後2時から

会場 くりりんセンター 2階 研修室

出席委員

全4名出席

2 報告事項

前回会議の補足について

前回の有識者会議において委員からご意見、ご質問のあった事項について、補足説明を行いました。

- ・ 各計画等による人口推計値と施設規模の試算
構成市町村から報告をいただいた人口推計値をもとに、プラントメーカーへの照会に用いる施設規模を試算しました。
(肉骨粉の処理を含めて焼却:280~300t/日、破碎:50t/日、メタン発酵:60t/日と試算)
- ・ 搬入の構成比(台数・搬入量)
くりりんセンターにおける搬入台数と搬入量の構成比について説明しました。
- ・ 平成29年度くりりんセンターごみ処理フロー
平成29年度のくりりんセンターのごみ処理フロー図を用い、搬入されたごみ処理の流れを説明しました。
- ・ 焼却残渣の資源化
焼却残渣の処理(資源化)について、想定される方法について説明し、ご意見をいただきました。

3 協議事項

プラントメーカーへの照会における基本条件について

プラントメーカーへの照会における基本条件として、検討対象とする各処理方式の特性等について聞き取ることを整理しました。

- 処理対象
- 計画ごみ質
- 施設内外の設備(想定)
- 公害防止基準
- 建設候補地
- その他

プラントメーカーへの照会内容について

前回の有識者会議で提案した「安定性・安全性」、「経済性」、「環境性」の3つの視点から、プラントメーカーへの照会内容を整理しました。

- 建設費
- 連続稼働実績
- 事故防止対策
- 災害対策
- 公害防止性能
- 運転・維持管理費
- 建築面積
- 資源化及び残渣発生量
- エネルギー消費量
- エネルギー回収量
- 排ガス排出量

評価項目の整理について

各処理方式を正確に評価するため、評価の項目とその着目点を整理しました。

(1) 安定性・安全性

【安定稼働】 ■ごみ質・量の変動 ■運転管理の難度 ■補修の頻度 ■連続稼働実績 など
【安全性】 ■非常時の対応 ■防災面への対応 ■事故・トラブル事例 など

(2) 経済性

【建設】 ■建設費
【運転管理】 ■運転・維持管理費 ■残渣(資源化)に要する費用 ■最終処分に要する費用
【資源化】 ■売電収入 ■売却収入
【コスト変動】 ■コスト変動対応力
【建設面積】 ■建物の大きさ(延べ面積)

(3) 環境性

【省エネルギー】 ■資源・エネルギー消費量
【再資源化】 ■物質回収量 ■処理残渣の資源化 ■エネルギー回収量
【最終処分負荷】 ■最終処分量
【公害防止性能】 ■公害防止基準 ■排ガス量
【温暖化負荷】 ■温室効果ガス発生量

4 次回会議事項等

開催予定日時等

日時 平成30年12月25日(火) 午後2時から
会場 くりりんセンター 2階 研修室

主な協議事項(案)

・プラントメーカーへの照会について 他